



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月27日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ

上場取引所 東証一部・名証一部

コード番号 7514

URL <https://www.himaraya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大野 輝文

TEL (058) 271-6622

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日

配当支払開始予定日 2020年5月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	29,408	△9.2	△549	—	△481	—	△386	—
2019年8月期第2四半期	32,404	0.5	△77	—	△20	—	△83	—

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 △460百万円 (—%) 2019年8月期第2四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	△31.37	—
2019年8月期第2四半期	△6.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	34,882	14,194	40.7
2019年8月期	33,675	14,777	43.9

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 14,194百万円 2019年8月期 14,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年8月期	—	10.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,630	△4.4	700	△19.3	840	△15.5	380	△35.3	30.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期2Q	12,320,787株	2019年8月期	12,320,787株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	256株	2019年8月期	206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期2Q	12,320,548株	2019年8月期2Q	12,320,581株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年9月1日～2020年2月29日）における我が国の経済は、雇用環境の改善が継続するなど回復基調を示す反面、10月に実施された消費税率引き上げの影響などにより、個人消費の動向は不透明なものとなりました。一方、米中貿易摩擦など海外の不安定な情勢の継続に加え、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響が拡大しており、国内外の経済動向は不透明な状況となっております。

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、記録的な暖冬、少雪の年となったことにより、ウィンタースポーツを始めとする冬物商戦全般に影響を受けました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、プロ、アマチュア、学生、一般層の係わる様々なスポーツにおいて、自粛、規模縮小を余儀なくされる状況となりました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて大きな期待が高まっているものの、早期の事態の鎮静化が望まれます。

一方、EC市場の拡大により、お客様の購買動向の変化が進行しております。当社グループはEC販売システムへの投資により、販売サイトの利便性を高め、EC市場でのシェアの獲得を推し進めるとともに、拡大するEC市場のお客様をリアル店舗へ送客する仕組みを整えるなど、市場変化への対応を進めております。

出退店の状況には変化はありません。2020年2月末時点で当社グループの店舗数は全国で106店舗、売場面積は220,612㎡、前年同期比で店舗数は1店舗減、売場面積は2,970㎡減となりました。

売上高については、暖冬、少雪の影響により防寒用のウェア、雑貨の販売が影響を受けたこと、ECではキャッシュレス・ポイント還元事業の影響も加わった過度な価格競争を避けていること、消費税率引き上げによる個人消費の低下などにより、全般に前年を下回る状況となりました。これらの影響を受け、商品別では、一般スポーツ用品は前年同期比90.0%となり、ゴルフ用品は人気ゴルフクラブの発売年ながらも、前年同期比91.6%となりました。アウトドア用品は、引き続きキャンプ用品、アウトドアウェアの好調が下支えし、前年同期比107.4%となりました。スキー・スノーボード用品は、降雪の少なさから、多くのスキー場でオープンもままならない状況となりファミリー層の動きが著しく低迷したことなどから前年同期比67.8%となりました。

連結売上総利益率は、冬物商品の在庫処分、9月に実施した消費税率引き上げ前のセールの影響などから33.0%となり、前年同期に比べ1.0ポイント低下いたしました。

販売費及び一般管理費については、全般的に抑制したものの、売上総利益の低下を補うには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高29,408百万円（前年同期比9.2%減）、営業損失549百万円（前年同期は77百万円の営業損失）、経常損失481百万円（前年同期は20百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失386百万円（前年同期は83百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,307百万円増加いたしました。これは主に商品が1,444百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が118百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は34,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,207百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は14,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ369百万円増加いたしました。これは主に短期借入金800百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,177百万円増加したことによるものであります。固定負債は5,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,420百万円増加いたしました。これは主に長期借入金1,421百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は20,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は14,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ583百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.7%（前連結会計年度末は43.9%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」とする）の残高は、前連結会計年度末に比べ505百万円増加し、3,071百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は17百万円（前年同期は526百万円の増加）となりました。これは主に仕入債務の増加1,177百万円により資金が増加した一方で、たな卸資産の増加1,438百万円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は205百万円（前年同期は285百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出128百万円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は728百万円（前年同期は1,521百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の純減800百万円、長期借入金の返済による支出1,237百万円により資金が減少した一方で、長期借入金の借入による収入2,900百万円により資金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、現在のところ、2019年9月26日に発表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、市場環境に影響を与える可能性がある事象についてはその動向を注視しております。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,566	3,071
売掛金	1,860	1,526
商品	15,779	17,224
貯蔵品	11	5
その他	1,160	858
流動資産合計	21,379	22,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,818	3,731
土地	1,420	1,388
リース資産（純額）	24	18
その他（純額）	299	307
有形固定資産合計	5,564	5,445
無形固定資産		
ソフトウェア	567	582
その他	45	27
無形固定資産合計	612	610
投資その他の資産		
投資有価証券	1,182	1,058
長期貸付金	697	660
差入保証金	2,971	2,968
繰延税金資産	982	1,165
退職給付に係る資産	5	12
その他	294	290
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	6,119	6,139
固定資産合計	12,296	12,196
資産合計	33,675	34,882

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,152	10,329
短期借入金	800	—
1年内返済予定の長期借入金	2,235	2,476
リース債務	21	14
未払法人税等	303	116
賞与引当金	364	370
株主優待引当金	27	29
資産除去債務	23	11
その他	1,429	1,380
流動負債合計	14,358	14,728
固定負債		
長期借入金	3,345	4,766
リース債務	4	0
資産除去債務	861	865
その他	328	328
固定負債合計	4,539	5,960
負債合計	18,897	20,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	4,004	4,004
利益剰余金	8,292	7,782
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,840	14,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	△150
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	1	16
その他の包括利益累計額合計	△62	△136
純資産合計	14,777	14,194
負債純資産合計	33,675	34,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	32,404	29,408
売上原価	21,379	19,717
売上総利益	11,024	9,690
販売費及び一般管理費	11,102	10,239
営業損失(△)	△77	△549
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	11	12
受取賃貸料	60	71
その他	51	54
営業外収益合計	129	144
営業外費用		
支払利息	7	6
不動産賃貸費用	61	60
その他	3	9
営業外費用合計	72	76
経常損失(△)	△20	△481
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
減損損失	45	—
特別損失合計	45	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△64	△481
法人税、住民税及び事業税	39	55
法人税等調整額	△19	△151
法人税等合計	19	△95
四半期純損失(△)	△83	△386
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	△386

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△83	△386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△86
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	33	14
その他の包括利益合計	14	△73
四半期包括利益	△69	△460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69	△460
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△64	△481
減価償却費	374	345
減損損失	45	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△35	5
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△9	—
株主優待引当金の増減額（△は減少）	1	2
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	19	—
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	—	13
受取利息及び受取配当金	△17	△18
支払利息	7	6
売上債権の増減額（△は増加）	51	314
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,302	△1,438
仕入債務の増減額（△は減少）	2,405	1,177
未払消費税等の増減額（△は減少）	△103	139
その他	79	129
小計	451	194
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	69	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	526	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△111	△128
有形固定資産の売却による収入	0	34
投資有価証券の取得による支出	△73	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△8	—
敷金及び保証金の回収による収入	24	1
その他	△117	△113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△800
長期借入れによる収入	—	2,900
長期借入金の返済による支出	△1,387	△1,237
配当金の支払額	△123	△123
その他	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,521	728
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,281	505
現金及び現金同等物の期首残高	4,689	2,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,408	3,071

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。